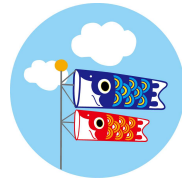


「令和」の風薫る5月

校長 小杉 栄樹



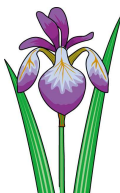
新緑が爽やかな季節となり、校庭の木々の緑も日ごとに青々と茂ってきています。

昨年5月1日、元号が「平成」から「令和」になりました。「令和」は万葉集にある「初春の令月にして、気淑く風和らぎ」から引用されたものであり、そこには「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」との意味が込められているとのこと。

令和2年となり、今日本は、そして、世界は、新型コロナウイルス感染症という大きな壁に直面しています。その大きな壁を乗り越え、新しい文化を創り上げていくためには、努力、協力、忍耐力、判断力、そして体力、様々な「力」が必要なのではないでしょうか。「今自分にできることは何なのか」をしっかりと考えながら行動していきたいと思ひます。

令和に生きる砂山小学校の子供たちが、人を深く愛し、感謝と思いやりの心を持ち、より良い社会の実現を目指して行動できるように、そして、自分の夢の実現に向けてたくましく生きることができるよう、砂山小学校の学校文化を育んでいきたいと思ひます。

ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



ご入学おめでとうございます

4月9日(木)に入学式が行われ、かわいい35名の1年生が砂山小学校に入学しました。新入生の子供たちには、「にこにこ あいさつ」「もくもく そうじ」「どくどく どくしょ」の三つのお約束の話をしました。

今学校は臨時休業中ですが、再開された時には、元気よくあいさつし、約束を守り、楽しく学ぶ、そして、友達と仲よく、笑顔いっぱい学校生活を過ごしてほしいと思ひます。



「親の正面」を見せましょう

5月5日はこどもの日です。昔から「親の背中を見て子は育つ」と言ひます。この時の「背中」というのは、仕事や家事をしているときの後ろ姿です。親と子が共存している姿を示すことにより、子供たちは知らず知らずのうちに親のことを理解し、感謝の気持ちや生きる姿勢を身につけていきます。親の背中には、大きな教育力を持っています。

親は、子供たちに、後ろ姿だけではなく、「正面の姿」を積極的に見せてはどうでしょうか。「正面の姿」とは人生を楽しむ姿です。大人になっても良い活動をし、生き生きと笑顔で暮らす姿を子供たちに見せることは、後ろ姿を見せることと同じくらい大切なことだと思います。良い活動とは、仕事、趣味、地域活動、ボランティア活動であつたりします。子供たちは、前も後ろも親の姿を見て自立への意欲を育んでいきます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、家庭で過ごすことも多くなつています。思ひっきり身体を動かすこともできずにストレスを抱えている子も多いのではないのでしょうか。今こそ親子のふれあい、会話の時間を大切にしてください。子供たちの声を聴くことを心がけてください。話を聞き流すのではなく、親の意見を押し付けるのではなく、ただ、聴いてあげてください。



コミュニティスクールの取組を一層推進

平成30年度からコミュニティスクール事業に取り組んでいます。砂山の子供たちを育てるために、学校と保護者だけでなく、地域の皆様方とも協働した取組を進めています。

子供たちの学力・体力の向上、学校生活を充実させるために、三年目の取組を一層充実させてまいります。そのためには、各家庭での子供の基本的な生活習慣の確立や家庭学習の充実へのご支援をよろしくお願いいたします。

家庭訪問中止のお知らせ

先日からお知らせしていますが、4月に予定していましたが家庭訪問を中止させていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「緊急事態宣言」が日本全国に拡大されたことを受けての措置です。お忙しい中、時間を調整していただいたにも関わらず大変申し訳ございません。ご理解の程よろしくお願いいたします。